

1 0 . 建設局

建設局 平成20年度局運営方針

1. 市民生活環境の向上

- ・暮らしの道路及びスマイルロード整備事業により、市民の要望をふまえ生活道路の整備を行います。
- ・広域幹線道路の整備を推進し、広域交通ネットワークの形成を図ります。
- ・未普及人口解消のため公共下水道(汚水)整備を進め、平成20年度末における下水道普及率85% (+1.3%)を目指します。

2. 安心・安全な市民生活の確保

- ・市有建築物の有効活用及び耐震化を計画的に推進します。
- ・市街地における浸水被害を軽減するため、引き続き南浦和2号幹線整備事業を実施するほか、新たに白幡幹線整備事業に着手します。
- ・東宮下、風渡野、東門前地区の浸水被害の軽減を図るため、東宮下雨水渠^{きよ}整備事業に着手します。
- ・老朽化の著しい下水道管路施設の改築更新を行うとともに、併せて大規模地震時における施設の被害の最小化を目指して耐震化工事を行います。

建設局 予算額

【一般会計】

(単位：千円)

	平成20年度	平成19年度	増 減
建設局予算額	47,339,778	45,277,306	2,062,472
(土木部)	29,189,838	26,688,962	2,500,876
(建築部)	1,627,874	2,026,442	398,568
(下水道部)	16,522,066	16,561,902	39,836

【下水道事業会計】

(単位：千円)

	平成20年度	平成19年度	増 減
支出額	48,302,000	47,075,000	1,227,000
(うち)収益的支出	21,530,000	21,839,000	309,000
(うち)資本的支出	26,772,000	25,236,000	1,536,000

建設局 主要事業

暮らしの道路整備事業及びスマイルロード整備事業(道路環境課) 予算額：2,048,300千円

暮らしの道路及びスマイルロード整備事業により、市民の要望をふまえ生活道路の整備を推進します。

広域幹線道路の整備（道路計画課）**予算額：5,565,586 千円**

広域的な移動に資する幹線道路について、効率的かつ効果的に整備を推進し、広域交通ネットワークの形成を図ります。

東宮下雨水渠^{きよ}整備事業（河川課）**予算額：704,702 千円**

東宮下、風渡野、東門前地区の浸水被害を軽減し、市民生活の安心・安全の確保を図ります。

市有建築物安全安心診断事業（保全管理課）**予算額：91,372 千円**

計画的で効率的な維持管理を行うためのさいたま市保全情報システムの構築を行います。耐震化実施計画に基づき、耐震化を促進し、安心して安全に利用できる市有建築物を市民に提供します。

道路台帳システム整備事業（建築行政課）**予算額：76,713 千円**

市内の全ての道路（公道・私道）について、建築基準法の道路に該当の有無を調査し、図面化及び台帳システムを構築することにより建築確認手続きが円滑になり、市民サービスが向上します。

さいたま市住生活基本計画策定事業（住宅課）**予算額：7,612 千円**

住生活基本法に基づき、国及び県計画との整合性を図りつつ、本市の状況に即したさいたま市住生活基本計画を策定します。

市営春野団地建設事業（住宅課）**予算額：739,000 千円**

老朽化した市営住宅の計画的な建替えを円滑に推進するために、見沼区春野地区に継続して、市営住宅を建設します。

下水道汚水事業（下水道計画課）**予算額：9,576,555 千円**

市民の生活環境の改善や公共用水域の水質保全のために、公共下水道（汚水）整備を実施します。

下水道雨水事業（下水道計画課）**予算額：2,045,265 千円**

市街地の浸水被害軽減を図るため、公共下水道（雨水）整備を実施します。

下水道合流改善事業〔浸水対策〕（下水道計画課）**予算額：2,207,220 千円**

合流式下水道区域における浸水被害軽減を図るため、雨水貯留施設の整備を実施します。

下水道施設老朽化対策事業〔管路施設〕（下水道計画課・下水道維持管理課）**予算額：508,136 千円**

老朽化の著しい下水道管路施設の改築更新を行うとともに、併せて大規模地震時における施設の被害の最小化を目指して耐震化工事を実施します。

建設局 見直し事業

既存建築物耐震改修促進事業（建築総務課）

平成19年度に耐震改修促進計画策定が完了したため、耐震相談等についてはさいたま市既存建築物耐震補強助成事業に編入することとし、既存建築物耐震改修促進事業は廃止します。

